

花と緑の銀行だより

175号 2010.5



オオイヌノフグリ／富山市

目次	・花と緑の提言..... 2	・技術講座..... 6
	・写真コーナー..... 3	・この人あり..... 7
	・活動事例..... 4	・お知らせ..... 7
	・花壇用草花の新品種と栽培法..... 5	



滑川市の花と緑づくり

滑川市長 滑川支店長 上田 昌孝

若葉の鮮やかな季節を迎えておりますが、花と緑の銀行の頭取様をはじめ関係の皆様方には、日頃から、それぞれの地域の花づくり、緑づくりに積極的に取り組まれ、花と緑に彩られた美しい地域づくりに多大なご尽力をいただき、心より感謝を申し上げます。

富山湾上はるかに能登半島を望み、雄大な北アルプス立山連峰を仰ぎ見る素晴らしい景勝の地「滑川市」は、県中央部に位置し、農業・漁業・薬業・商業・工業など各産業と調和がとれた人口約3万4千人の都市として着実に発展してまいりました。

市は、配置家庭薬の生産地であり、古くから“くすりのなめりかわ”として全国に親しまれており、薬業は代表的な伝統的地場産業として発展しております。そこで、広く市民等にご理解いただく意味で、道路の植樹帯には薬木の「モクゲンジ」を植栽し、その根元には「シラン」「ドクダミ」等を植えています。

また、公園においては「シャクヤク」等が植えられ、まじかに薬草に触れることができるとともに、薬のまち滑川をPRしております。

春になると、富山湾の深海からの使者「ほたるいか」が訪れて神秘的な青い光を放つ滑川の海岸一帯は、世界的にも珍しい特別天然記念物に指定されています。特に、観光船「ほたるいか海上観光」や、世界でただ一つの「ほたるいかミュージアム」では、3月中旬から5月末日まで水槽内を泳ぐ元気なほたるいかを実際にご覧いただくことができ、是非訪れていただきたいところです。

富山平野を一望できる東福寺野自然公園では、本格的なパークゴルフ場をはじめ、ロマンチックな夜景が望めるSLハウスなど、素晴らしい自然の中で楽しんでいただけるいろいろな施設をご用意し、皆様のお越しをお待ちしております。

また、花菖蒲と平成の名水百選の『行田の沢清水』で知られる「行田公園」があり、市民の憩いの場となっております。

市では、第4次滑川市総合計画を平成22年度末に策定予定ですが、「ときめき かがやき ひかりのまち なめりかわ」を標榜し、市民参加による花

と緑にあふれるまちづくりを目指し、街路樹の植栽、フラワーロードの整備、花壇の設置等を推進し、潤い空間の整備に努めていこうと考えております。

現在、花と緑の銀行滑川支店は頭取9名、グリーンキーパー 28名計37名で地区の緑化運動を担っております。そのメンバーで構成される滑川市花と緑の活動推進協議会を平成8年に設立し、さまざまな緑化運動を実施しております。

毎年5月には、市道駅南環状線沿いのフラワーポットや市道滑川駅前線中央分離帯(通称「ほたるいかプロムナード」)に、地域住民がボランティアで花苗を植込みし、色鮮やかなフラワーロードが、市を訪れる人々を迎え、心を潤してくれます。

また、21世紀にちなみ今後百年をかけて2万1千本の桜を植栽する「21世紀桜のまち推進事業」を企画し、本市が桜でいっぱいのもちになるよう桜の植栽・育成を地域住民・事業者・行政が一体となり、事業を進めております。

これからの本市の花と緑づくりについては、「自らが苗を作る。植え、育てる。」を進めており、花と緑を見て、癒され、そして学び、また苗を作る・・・を繰り返しながら、市民・行政一丸となって緑花運動を進めていきたいと考えております。

花と緑の育成に情熱をもち、地域の緑化推進のリーダーである頭取・グリーンキーパーの方々や市民の皆様のご意見をいただきながら、花と緑の推進に努めてまいりますので、一層のご支援とご協力を心からお願いします。

最後になりましたが、財団法人花と緑の銀行の益々の発展と皆様方のご健康とご活躍をご祈念いたします。



ほたるいかプロムナードへの住民による植込み作業

第20回花と緑のフェスティバル



テープカット



ピノキオ保育園児による
オープニングセレモニー



ツバキの展示(いのくち椿館協力)



「青いバラ」の展示



プリザーブドフラワー等の展示



フラワーボトル展示



県内生産者による花き展示



シンセサイザー演奏



各種教室の開催



日本庭園でお茶を



伝統園芸の展示



物販、キノコ汁賑わう



フラワーアレンジメント



コンテナガーデンコンテストやオープン
ガーデン100文字応援花コンテストの表彰式



コンテナガーデン展示

花と緑に親しんで

花と緑の銀行 入善支店

青木地方銀行 頭取 **松原宣昭**

はじめに

青木地区は、黒部川扇状地の扇央部に位置し、大きな棚田のような水田の広がりや点在する集落、森、その向こうで光る海が美しい所です。とくに、国指定天然記念物の「杉沢の沢スギ」に隣接しており、幼いころから林内を遊び場に使っていた人は、今でも目当ての樹木や草花との出会いを楽しんでいるようです。緑は、6月の雨の時期には一番鮮やかになります。全面に広がる水田の早苗の若々しい輝きと水面の反射が織りなす光景が特筆されます。

近年は花や緑をプランターに飾るなど、生活に潤いを求める人たちが増えてきました。こうした背景があって、地区では各町内会に約1名のグリーンキーパーを配置するようになり、現在6名のグリーンキーパーが活動しています。各町内会では、グリーンキーパーを中心に自治公民館や公共の広場などの花壇づくりを進めています。

保育所「なかよしかだん」の造成

昨年、全グリーンキーパーが一丸となって、青木保育所の花壇をつくりました。わずか15cmしかない表土を50cmまで掘り起こし、石や砂利を取り除き、新しい土と腐葉土を入れて再生しました。大きなゴールドクレスト3本をシンボルツリーとして、ルドベキア・インディアンサマー、エキナセア、ブルーサルビアなどの宿根草を加え、あとは定番の一年草でまとめました。しかし、長雨と肥料の効き過ぎでピアンカが根腐れし、何度も植え直しをしました。今年は、肥料をすき込む時期を早めて根の生長を促進させねばと思っています。



青木保育所なかよしかだん

播種からの苗育成

昨年の苗育成の要点を記します。

- ・3月20日播種(25度で管理)……3日目にマリーゴールド発芽。6日目にジニア・プロフュージョン発芽。サルビアの発芽は12日目。インパチェンスは発芽に光が必要なため覆土せず、14日目に発芽しました。
- ・市販の「種まき培土」は土粒が大きいためセル内で空間ができやすく水分補給が難しくなります。用土の4割ほど調整ピートモスを混ぜれば良好な結果が得られます。また、培土に多めに水を加え

ることで、土が重くなり、トレーをトントンと振り下ろすと簡単に、隙間なくセル内に土が入り込みます。

- ・培土にあらかじめ施肥(ハイポネックスなど粉状の化学肥料)しておくとう発芽後の生育は非常に進みます。「種蒔きは肥料気のない土で」という神話は崩れます)
- ・マリーゴールドの種は、蒔かずに胚芽部分を軽く土に刺すとほぼ100%発芽、直立状態で生長します。

花と緑の地域活動

「花と緑の教室」は、今では地域行事のように定着してきました。質問コーナーでは、植木の剪定、病害虫の対処法、古土の再生などで、年々、質問もレベルアップするなど、住民の花や緑に対する関心とそれらを実際に生活に取り込む機会が増えてきた様子がうかがえます。ワークショップでは、上記のセルで発芽させたポット苗を大量に使って、ローボールプランターに寄せ植えをします。これは、会員の玄関や庭先に配置され、夏から秋を彩るコンテナガーデンとして大切に管理されています。夏に徒長した部分を切り戻し、秋には一段と花数を増した鉢に出会うとうれしくなります。

「下村テクテク散歩」は、体力づくりを兼ねて、歩きながら会員の庭園を巡り緑にふれるという活動です。アオキ、シロダモ、ネムノキ、ハンノキ、ハリエンジュなど扇状地特有の樹木が見られます。「子供のころ、この辺りはこんな木がジャングルのように繁ってたわ。懐かしい」と昔の話に花が咲きました。



花と緑の教室

まとめ……発見と驚きそして感謝

私は、第二の人生を歩むころから、縁あって盆栽教室を主宰するようになりました。その後、ガーデニングにも手を染め、現在、コンテナガーデン教室のお世話を富山市で行っています。30年来の盆栽歴を引きずっての悪戦苦闘を演じているのですが、その原動力は植物の生命力についての新しい発見と驚きです。沢スギのナチュラルリストとして来訪者に林内植物の案内をしています。来訪者の質問から、そして指さした植物から教えられることも多く、こうした出会いに深く感謝しています。

育ててみたい新しい花壇用草花の栽培法

富山テレビ事業(株) 花メイト 西尾 正

野山の新緑が日に日に色濃くなってきてガーデニングにはもってこいの季節となりました。このごろは毎年のように草花の新品種が店頭に並ぶようになってきました。今回はその中でもお勧めの新しい花壇用草花2種類を紹介します。

①ペチュニア

《ブリエッタ (第一園芸)》

近年、花色のみならずその形態もバラエティに富んだペチュニアを改良した新品種が数多く登場してきました。

ペチュニアの最大の欠点である雨に弱い点を改良した品種が各メーカーから発売されていますが、蒸し暑い富山の梅雨時期にはどうしても病害が出てしまうことがあります。

その点、第一園芸から出ている「ブリエッタ」は比較的楽に梅雨越しができます。

小輪多花のほふく性のペチュニアで、何といってもその旺盛な成長力が魅力で1株が直径70cm以上の大株に成長します。

栽培のポイントは、苗の定植時に軽いピンチを行うことで形の良い株に仕上がります。また、生育スピードが速いので肥沃な土作りを行い、追肥も定期的に施します。

花殻摘みなどの面倒な作業は余りありませんが、梅雨明け前に1度思い切った剪定を行うと秋口にはまた一回り大きくしっかりとした株になります。

花壇に植えるほかにコンテナやハンギングバスケットにも利用できます。

「ブリエッタローズ」という八重咲きの品種もあり、小輪なので花数も多く雨にも強いのでより豪華な花を楽しむことができます。

こちらは、梅雨時期には花殻をこまめに摘むようにします。



「ブリエッタ」



「ブリエッタローズ」

②ニチニチソウ

《フェアリースター (第一園芸)》

花壇苗としてはポピュラーなニチニチソウも今回紹介する極小輪のタイプや下垂性のものや変わり咲きの物など様々な品種が出回っています。

通常のニチニチソウに比べ花の大きさは1/4程度の小輪ですが芽の付く数が多く、花数や分枝数も格段に多いのが特徴です。

栽培法は従来のニチニチソウと基本的には変わりありません。定植後数回の摘心を行うことにより形が整います

梅雨期以後に草姿が乱れてきたらわき芽の上で切り戻しを行うと良いでしょう。

花もちが良いので切った枝は切花としても楽しめます。

花壇に植えるほかに大鉢に植えて大株に仕立てて楽しむのはもちろん、夏を彩る様々な草花との寄せ植にも活用できます。

水のやり過ぎは根を傷めるので表土が乾いてから与えるようにします。また、肥料不足は成長を遅らせることになるので定期的に追肥を施します。



「フェアリースター」

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン④

職藝学院

教授 渡邊美保子

花壇の手前に植える宿根草は、草丈が低く地面を覆うように広がり、花が終わった後も緑の葉が長く楽しめるものをおすすめします。写真1は、北アメリカ原産のエリゲロン・カルピンスキアヌス、和名をゲンペイコギク（源平小菊）といいます。



写真1: エリゲロン6月中旬

花だけをみるとハルジオンに似ていますが、草丈は20cm程度で、5月の連休明け頃から咲き始め7月頃まで楽しめます。エリゲロンの最大の特徴は、咲き始めは花の色が白く、咲き進むにつれて紅色に染まることです。和名の源平小菊は、源氏の旗は白色で、平家の旗は赤色であったことに由来しているそうです。

花壇の手前に植える場合は、数株まとめてグループを作るように植えると、株がゆるやかに地面に広がってゆきます。株と株の間がうまってまいりますと、ほとんど雑草が入り込むことがありません。また、花色が白から桃色、紅色に変化すると同時に花茎がくねくねと上へ上へと伸びてきます。その性質を利用して石垣や、石の階段の石と石の隙間に土を入れて植えますと、まるで、空中に浮かぶ白と桃と紅色の3種類の花が踊っているように見えます(写真2)。

一つ一つは目立たない小さなお花の集まりですが、咲き始めるとなぜか花壇にしゃがみこみ、日ごと移ろいゆく花の色を毎日かかさず確かめたくなる不思議な宿根草です。



写真2: グレートディクスターガーデン(イギリス)7月中旬

エリゲロンは、日当たりがよく水はけのよい土壌を好みます。乾燥にも耐え、花から摘みなどの手間もかからず、植え付け時の施肥だけで何年も楽しむことができます(写真3)。花茎が伸びて株全体が暴れるようでしたら、草丈の半分ぐらいの高さまで切り戻しをして更新するとよいでしょう。



写真3: 職藝学院宿根草実験ガーデン5月下旬

右から時計回りにラムズイヤー、アルケミラモリス、エリゲロン



楽しくつきあう花とのふれあい

花と緑の銀行砺波支店

鷹栖地方銀行前頭取 **猪原 健造**

鷹栖地区は砺波市の西部に位置しています。地区の東の入口交差点に花壇があり、会社勤めの頃は、朝夕の行き帰りに、綺麗な花に心を和まされたものでした。

第二の人生を迎え、鷹栖小学校も移転した年の秋、この花壇に雑草が多いことに気がつき、進んで草むしりを始めました。これがきっかけとなり、平成5年に鷹栖緑花愛好会会長を要請され、又平成7年には花と緑の銀行砺波支店鷹栖地方銀行頭取に推薦され、今日に至っています。

花づくりに全く緑の無かった者ですが、花と緑の講習を受け、花と緑の園芸百科などで勉強させて頂きました。

花壇づくり、花づくりについては、一年を通して四季折々の花が咲いていること、特に砺波はチューリップフェアに力を注いでいることもあり、チューリップを欠かさない花壇づくりに留意し、地区全般に花を咲かせることを目指して頑張ってきました。今では小学校移転跡地の鷹栖公園花壇は、頭取・グリーンキーパーの指導のもと、各種団体が参加する鷹栖花と緑の推進協議会で、地区メイン花壇として、地域のモデル花壇となるよう頑張っており、近隣の保育所や小学校へも働きかけ、楽しく子供から老人まで花づくりのふれあいを深めています。

2000年とやま国体前年の鷹栖小学校中庭の花壇づくりのお手伝いを機として、小学校の花壇づくりにも時折相談を受けることになり、現校長先生まで6代に亘って交流を頂き、時々子供たちの授業に参加を要請され、出席してふれあいを深めています。現在の地区花壇は5箇所、花の道は宮町町内、国道359号線沿い、それに工業高校も含む旧359号線沿いの3箇所となっています。

個人的には、小学校の移転の年と同じ傘寿を迎えることとなり、頭取5期15年の節目に当たることから、活性化を図るため有能若手に将来を託し、今後もグリーンキーパーとして地域の花と緑の推進に微力を尽くす所存です。

〈お知らせ〉

平成22年度富山県花のまちづくりコンクールの募集開始!

花づくりを通じた環境づくり、地域づくりを顕彰するコンクールの日程が下記のようにになりました。詳細は花と緑の銀行支店にお問い合わせください。

区分	幼稚園・ 保育所花壇	学校花壇	一般花壇	花の道	個人花壇
応募締切	7月14日(水)	7月21日(水)	7月21日(水)	7月28日(水)	7月 7日(水)
一次審査	各支店(市町村)で実施				7月12日(月)
現地検査	7/22(木)~7/23(金)	7/28(水)~7/29(木)	8/2(月)~8/3(火)	8/9(月)~8/10(火)	7月30日(金)

花壇コンクール入賞パネルの配布について

過去にイベント等で展示した花壇コンクール入賞パネルを、ご希望があれば配布します。在庫リストは、**(財)花と緑の銀行のホームページ**で閲覧できるほか、直接花と緑の銀行普及研修部に連絡してください。原則として取りに来ていただきますが、花と緑の銀行支店で希望をとりまとめいただいた場合は、支店あてに配送します。配布期間は平成22年9月30日(木)までとさせていただきます。



半切サイズ写真 パネルサイズ51×42cm

頭取、グリーンキーパーの中央植物園入園料について

(財)花と緑の銀行が交付している委嘱証、登録証を入園窓口で提示していただくと、本人および同伴者4名まで、団体料金(2割引)で入園できるようになりました。

◆「とやまオープンガーデンマップNo2」【①花の見どころ162カ所を掲載 ②100文字応援花の募集中】を、県下45カ所の書店等で販売中(1冊300円)です。花壇を楽しむとともに、花巡りウォーキングによる「ふる里再発見の旅」が広まり、「人と人との交流」がさらに進むことを期待しています。

◆中央植物園内に設置されている頭取・グリーンキーパーステップアップ研修の実習花壇を、更に宿根草に適した花壇に改修しました。6月中旬には植栽を完了する予定で、植物園のボーダー花壇として、また皆さんの学習用として活用していただきたいと思っております。

表紙写真:オオイヌフグリ(別名 瑠璃唐草等)、ゴマノハグサ科、帰化植物(富山市)
裏表紙写真:春霞の中の鋸崎山、薬師岳(立山町)



春霞の中の鍬崎山、薬師岳／立山町



花と緑の銀行だより 175号

発行日 平成22年5月

編集発行 財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org>

県民公園頼成の森

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>

再生紙を使用しています。